



# 協会だより

Kariya International Friendship Association

第41号

発行日  
2024年4月1日



ミササガ市民団4年ぶりの来訪！



2023年度に設立40周年を迎えた刈谷市国際交流協会のあゆみを紹介しています。(P15～19)

刈谷市国際交流協会 (KIFA)

# 2023年度 事業報告

## 総会（4月22日）

P19

協会が1983年に設立されてから40周年を迎えました。姉妹都市交流や多文化共生に多大な貢献があった個人や団体に感謝して表彰式を行いました。その後、漫画家・タレントの星野ルネ氏を招き「アフリカ少年と考える多文化共生」と題した記念講演会を開催しました。

## KIFA外国語教室

### ◇英会話中級

（5月13日～8月26日の隔週土曜日・全8回）

### ◇ベトナム語初級からのステップアップ

（5月13日～9月2日の毎週土曜日・全15回）

### ◇英会話中級

（10月21日～12月16日の毎週土曜日・全8回）

### ◇ポルトガル語入門

（10月14日～2月10日の毎週土曜日・全15回）

## ウクライナ画学生絵画展（5月25日～6月4日）

P6

ウクライナ・リヴィウにある国立芸術アカデミーの美術学生の絵画作品を展示しました。5月27日には県内在住のエリザベータさんを招いて交流会をしました。

## ワールドキッチン台湾編（6月17日）

P7

中国編（9月16日）

端午の節句に食べる粽（ちまき）、中秋節の月餅を習いました。

## 刈谷初期日本語教室「はなそう にほんご」

P8

（6月25日～9月3日）

刈谷市に住む、日本語がほとんどわからない外国人住民を対象に、対話型の日本語教室を行いました。  
（毎週日曜日 全10回）

## 世界をのぞこう!～ブラジル編～

P6

～絵本を出版しました（7月1日）

JICA日系社会青年海外協力隊員としてブラジルに派遣された経験のある講師に話を聞きました。

## 多文化交流フェスタ in 刈谷（10月1日）

P9

刈谷市や近隣に住む外国人市民と日本人市民が、文化紹介や民族衣装ファッションショーなどを楽しみ交流しました。

## 外国語絵本朗読会（10月14日）

P7

美術館の「和田誠展」で中国語の絵本の朗読会をしました。



▲星野ルネ氏 ご自身の多文化共生体験をユーモアを交えて話していただきました



▲エリザベータさんはウクライナの様子と今後の夢について流ちょうな日本語で話してくださいました



▲はなそう にほんご 毎回ひとつのトピックについてパートナーと学習者がお互いに工夫して日本語で伝え合いました



▲世界をのぞこう！ 絵本を出版した講師にブラジルでの体験を話していただきました

## ミササガ市民団受入 (11月10日～17日)

P4

姉妹都市のカナダ・ミササガ市からミササガ市友好協会のメンバー8名が来訪し、刈谷市民と交流しました。

## カナダ・ストリートホッケー体験交流会 (11月26日)

P10

東海日本カナダ協会 (TJCS) の協力のもと、ミササガパークでストリートホッケーを楽しみました。

## 生活日本語教室 (1月14日～2月18日)

P8

刈谷市で生活する外国人住民を対象に、災害のとき、救急車を呼ぶとき、病院の受診のときに必要な知識と日本語を学ぶ教室を行いました。

## ボランティア支援

### ◇ボランティア交流会 (5月14日)

刈谷市で多文化共生のボランティア活動をしているKIFAV 親善ボランティア、はなそう にほんご日本語パートナー、スリーエスのメンバーが参加し交流しました。

### ◇日本語教室ボランティア入門講座 (12月10日・17日 全2回)

### ◇ボランティア研修会 (1月20日)

講師：蜂須賀 真希子さん (日本語教師)

テーマ：インターネット日本語学習教材

「いろいろ 生活の日本語」の使い方

### ◇KIFAV日本語教室 (通年)



▲4年ぶりにカナダ人のみなさんとストリートホッケーを楽しみました



▲生活日本語教室では心臓マッサージのやり方やAEDの使い方を体験しました



▲KIFAV日本語教室は毎週の学習のほか高校とのスポーツ交流などもしています

# 2024年度 事業計画

### ◆諸外国交流事業

- ・諸外国からの訪問客受入時の支援・協力
- ・市内団体、市民による文化交流事業への支援
- ・国際理解講座「世界をのぞこう!」の開催

### ◆市民派遣事業

- ・姉妹都市ミササガ市へ市民団を派遣
- ・姉妹都市ミササガ市を友好親善のために訪問する市民を対象に、姉妹都市交流事業補助金を交付

### ◆フレンドシップ交流事業

- ・カナダ・ストリートホッケー体験交流会の開催
- ・カナダからストリートホッケー愛好家の市民グループの受け入れ

### ◆多文化共生事業

- ・外国人住民との交流事業等の実施
- ・多言語による各種生活情報の提供
- ・刈谷初期日本語教室「はなそうにほんご」の開催
- ・生活日本語教室の開催
- ・多文化交流フェスタの開催 (10月27日)
- ・食を通して多文化理解を深める「ワールドキッチン」開催
- ・外国人住民を対象とした防災意識の啓発や生活に役立つ情報提供

### ◆外国語教室開催事業

- ・協会会員を対象とした語学教室を開催 (10月～)

### ◆ボランティア支援事業

- ・市民ボランティアによる国際交流活動を支援 (日本語教室運営、文化交流、国際交流イベント開催など)
- ・各種ボランティア講座の実施や、他団体によるボランティア研修会への参加支援

### ◆その他

- ・総会開催 (4月20日)

姉妹都市からようこそ刈谷へ!!

# ミササガ市民団来訪

11月10日から11月17日までの8日間、姉妹都市ミササガ市から8人の市民団が刈谷市を訪問しました。4年ぶり15回目となる今回は、市長表敬訪問、市内見学、小学校訪問、伊勢神宮見学などのほか、着物・抹茶体験など日本文化にも親しみました。また、ホームステイを通して、日本の生活習慣を経験し、ホストファミリーとの交流を深めました。

## 滞在中の日程

- 11月10日(金) 刈谷市到着
- 11月11日(土) ホストとの対面式
- 11月12日(日) 日本語教室見学、刈谷市民との交流会、歓迎レセプション
- 11月13日(月) 市長表敬訪問、ミササガパーク、着物・抹茶体験、相撲見学
- 11月14日(火) 藍染体験
- 11月15日(水) 伊勢神宮見学
- 11月16日(木) 小高原小学校訪問、歴史博物館見学  
さよならパーティー
- 11月17日(金) 刈谷市出発



▲ 相撲見学 (協力: アイシン相撲部)



▲ 刈谷駅到着!



▲ ホストと初対面



◀ 歓迎レセプション  
市民団団長のあいさつ

伊勢神宮 ▶  
外宮・内宮・おかげ横丁の見学



## 小高原小学校訪問

5年生が元気いっぱいに歓迎

▼ 子どもたちと一緒に給食の時間

▼ 体育館での歌のプレゼントに市民団は感激!



▼ 教室での授業体験  
墨絵で竹林を描きました



Host's Voice



駒村 結衣さん

今回ホストとして参加したことで、ホストの我々が日本をより深く学び、日本をより好きになりました。また、協会側で多くのイベントを企画していただいたおかげで、なんとか1週間子育てをしながら受け入れることができました。市民団の方との生活の中で互いの文化の違いを知ることができました。フリータイムでは、名古屋城や日本庭園に行き、英語で日本文化についてガイドをしました。自分自身が説明のために改めて日本について勉強することも多く、非常に有意義な1週間でした。



◀ 藍染体験  
Tシャツや  
スカーフなど  
好きなアイテム  
を染めました



◀ ミササガパーク

▼ 市原神社で着物・  
抹茶体験  
(協力：KIFAV  
文化交流グループ)



## ミササガ市民団の 皆さん

団長 ムケシュ・グプタ  
(山田 恵子)

カーラ・カンパニョーニ  
(米山 裕美)

キャサリン・チャン  
(野々山 富士江)

ディヴィッド・リー  
(水谷 恭之)

ハシタ・シャー  
(平林 三千代)

カレン・メヴァ・ラムチャラン  
(加塚 美和)

ミリアム・カンパニョーニ  
(榎原 三千子)

ラム・クマー  
(駒村 結衣)

敬称略、()内はホスト名

## カナダ文化を体験 刈谷市民との交流会



11月12日(日)、国際プラザでミササガ市民団と刈谷市民の皆さんとの交流会を行いました。

クラフトコーナーではトナカイのオーナメント作りとカエデの葉を使ったリーフペインティングを行いました。カナ

ダの名産メープルシロップをかけた出来立てパンケーキがふるまわれ、訪れた市民はミササガ市民団とふれあいながらカナダ文化を楽しみました。また、市民団メンバーによるカナダ・ミササガ市の紹介、カナダクイズではカナダの先住民のことや移民の状況などを知ることができました。会場にはたくさんの市民が訪れ、温かく和やかな交流会となりました。



### Guest's Voice



Ram Kumar さん

刈谷に滞在中、心のこもったもてなしをしてくださった私のホストファミリー、そしてKIFAメンバーとボランティアの方々に感謝したいと思います。KIFAが細かく日程を組み準備してくれたおかげで、私たち市民団は素晴らしい経験をすることができました。ミササガパーク、伊勢神宮、藍染体験、市役所、相撲、小高原小学校、歴史博物館、どの訪問も印象深く、私たちチームは心から楽しみました。

また、刈谷市民との交流会、歓迎レセプション、着物体験、送別会などの活動も存分に楽しみました。全てが素晴らしい経験でした。ホストファミリーとKIFAの皆さんの友情と温かさを、私はこれからもずっと忘れないでしょう。本当にありがとう！

## ウクライナ 画学生絵画展

【絵画展】開催日 5月25日(木)～6月4日(日)  
場 所 国際プラザ  
共 催 一般社団法人ウクライナ人道支援 ジャクユーサポート  
協 力 恵舟庵アート・スタジオ  
【交流会】開催日 5月27日(土) 15:00～16:00  
参加者 21人

絵画展では、ウクライナ西部にあるリヴィウ国立芸術アカデミーの美術学生によるデジタル画21点と、支援に賛同した刈谷市内の絵画教室 恵舟庵アート・スタジオの画家たちによる作品11点を展示しました。

5月27日(土)には、首都キーウ近郊出身で、現在県内に在住のエリザベータさんと、ジャクユーサポートの葛西さんを招いて交流会を開催しました。交流会では、エリザベータさんが自分の作品3点に込めた思いや日本の印象などを、とても流ちょうな日本語で話してくれました。葛西さんはジャクユーサポートが行っている支援の内容や、現地の状況について紹介しました。

参加者からも多くの質問があり、関心の高さが伺えました。葛西さんからは、「ウクライナはとても素晴らしい国です。平和になったら、ぜひ訪れてみてください」とメッセージをいただきました。



▲作品の説明をするエリザベータさん。名古屋城には日本にきたばかりの頃の思い出を、女性の絵には「ウクライナのことを忘れないで」という想いを込めました。



▲葛西さんからは、継続支援の必要性を伝えていただきました。



▲期間中、刈谷だけではなく近隣の市からも多くの人々が訪れました。



▲ウクライナの平和を願うあたたかいメッセージが寄せられました。

## 世界をのぞこう！ ～ブラジル編～ 絵本を出版しました

毎回その国の出身者や滞在経験のある方を講師にお招きして、現地での生活や文化についてお話を聞くイベントです。

開催日 7月1日(土) 13:30～15:00  
場 所 国際プラザ  
講 師 高松洋子さん  
参加者 38人

絵本「ぼくは、カウアン」  
の読み聞かせ



▲大きくなった教え子のみなさんと保護者の方々も



▲小学生も積極的にクイズに参加



▲絵本を出版した経緯を興味深く聞きました

高松さんは、JICA日系社会青年海外協力隊員としてブラジルに派遣されていた経験を持ち、刈谷市の小学校教諭でもあります。ブラジルの文化や生活をはじめ、日本で担任した児童とブラジルで再会したこと、現地で学んだこと、絵本出版に至った経緯などをお話していただきました。子どもから大人まで総勢38名の方々がお話を聞きに来てくれました！

# ワールドキッチン



国際プラザのミニキッチンを利用してワールドキッチンを開催しました。外国人講師が母国の料理を紹介するこのイベントは、「食」を通して各国の文化を体験できるので毎回大変好評です。

## 台湾編 6月17日 (土) 10:30~14:00 台湾の粽を作ろう



台湾出身の黄アリスさんに、台湾の端午の節句で食べる粽<sup>ちまき</sup>と台湾の家庭料理のスープ<sup>ファチエダンファータン</sup>蕃茄蛋花湯の作り方を教えてもらいました。

参加者の皆さんは、五香粉がほんのりの香る具だくさんの台湾南部粽と栄養たっぷりのヘルシースープに大満足でした。



▲笹の葉で具材を包むのに苦戦！



## 中国編 9月16日 (土) 13:30~15:00 中国の月餅を作ろう



中国出身の渡部良美さんに、冰皮月餅<sup>ビンピーユエベン</sup>の作り方を教えてもらいました。冰皮月餅は中国の祝日「中秋節」に供えられたり、贈られたりする縁起の良いお菓子です。

作った月餅をみんなで食べながら、月餅にまつわる中国文化について教えてもらい、最後は「中秋快乐」<sup>チョン チウウ クワイラー</sup>というお祝いの言葉を言い合いました。



▲簡単なのに華やか



◀初めて見る中国の食材にみんな興味津々

## 外国語絵本朗読会



開催日 10月14日 (土) 11:00、13:30、14:30

場所 刈谷市美術館

和田誠さんの絵本は英語や中国語でも出版されています。今回はその中から「あな」を刈谷市在住の中国人 王艶さんが朗読しました。繰り返し出てくる言葉、フレーズがあり、中国語の響きを味わいました。

学芸員さんによる和田さんの絵本制作エピソードも含め、家族連れや遠方から訪れた方々に楽しんでいただきました。



# 刈谷初期日本語教室 はなそう にほんご

**開催日** 6月25日～9月3日 (全10回)

毎週日曜日 13:30～15:00

**場 所** 国際プラザ

**参加者** 学習者12人 日本語パートナー17人



▲家族や国のことなど自分のことを学習者と日本語パートナーが伝え合います

教室コーディネーターがクラス進行を担います▶

「はなそう にほんご」は、刈谷市に住む日本語がほとんどわからない外国人住民が、簡単な自己紹介やあいさつなどを話せるようになり、自分が住む地域でコミュニケーションを取れるようになることを目的に開催しています。毎回異なるトピックを用い、色々なペアで対話を繰り返すことで、学習者の「話したい、伝えたい」という気持ちが高まります。第9回目には、自分が話したい話題をひとりひとりがスピーチをし、最終回にはこれから勉強したいことなど様々な話題を話し合いました。



▲堂々としたスピーチでした

Student's  
Voices

こんな授業をまた  
受けてみたい

以前よりもずっと日本語でコミュニケーションできるようになりました

## 生活日本語教室

**開催日** 2024年1月14日～2月18日までの毎週日曜日 (全6回)

13:30～15:00 (1月28日のみ13:30～15:30)

**場 所** 国際プラザ

**参加者** 学習者24人 日本語サポーター17人

生活日本語教室は、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、健康かつ安全に生活を送ることができるようになることを目標としています。わたしたちの大切な命を守るために欠かせない、緊急かつ重要な3つのテーマを取り上げ、各テーマ2回の構成とし、1回目に専門家による「やさしい日本語」での講義を取り入れました。参加者は、講座や体験活動を通じて必要な知識と日本語を学び、また各グループに配置された日本語サポーターとの対話活動を通じて、教室で学んだ内容への理解を深めました。

### 参加者の声



**学習者 ロシーナ・チネンさん**

どのテーマも、様々な国から来た参加者にとって非常に役立つもので、今ではどう対処すればよいのか分かるようになりました。皆さんの笑顔が大好きでした。ありがとうございます！



**日本語サポーター 西口好志子さん**

同じ地域に暮らす仲間として、学習者さんと共に生活の大切な場面について学ぶことができ、嬉しかったです。外国人にとって難しい言葉をやさしい日本語でサポートしました。

1/14、1/21

地震が起こったら？

避難所ってどこ？



どんな姿勢を取るの？

刈谷市危機管理課  
五十嵐克巳さん

1/28、2/4

救急車を呼べますか？

119番に  
かける練習を  
してみよう



AED、心臓マッサージのやり方を実践

刈谷消防署  
木村展大さん

2/11、2/18

病院へ行けますか？

受付に必要な  
手続きは？



病院  
マップ  
作り

看護師  
平池香恵さん



# 2023 in 刈谷 多文化交流フェスタ



～遊ぼう！話そう！つながろう！～世界の人たちと！～

**開催日** 10月1日（日） **場所** 刈谷市民交流センター

多文化交流フェスタは、刈谷市や近隣に住む外国人市民と日本人市民が遊びや文化紹介などを通じてお互いのことを知り合い、交流を深めるイベントです。約850人の方々が来場し、各国の民族衣装や踊りの披露、ブース出展などにより多くの交流が生まれました。



## 参加者の声

杉浦主哉子さん



「新しい事をやってみたい」そんな動機からボランティアに参加しました。熱気を感じるステージはどの国も素晴らしかったし、対話型アート鑑賞会で絵についての感想を話し合う事は新鮮で楽しかったです。

「ボランティアって楽しい！」反省点は多々あれど、そう思える貴重な体験をありがとうございました。

# ストリートホッケー体験交流会

**開催日** 11月26日(日) 10:00~15:00 **共催** 東海日本カナダ協会(TJCS)  
**場所** ミササガパーク 特設会場 **参加者** 68人

カナダ・ストリートホッケー体験交流会が4年ぶりに開催されました。はじめにカナダ人の皆さんからスティックの持ち方やボールの打ち方、パスやシュート練習など基本的なプレーについて日本語と英語で教えてもらいました。お昼はできたてのカナダ流ホットドッグを食べ、会話も心も弾みます。午後から行われた試合では、カナダ人と日本人の混合チームを作り、大人と子どもに分かれて総当たり戦。大人たちは真剣さに激しさが加わり、白熱したゲームが繰り広げられました。子供のチームは年齢も身長もバラバラですが、一生懸命なプレーに大人たちは声援を送りました。当日は天気にも恵まれ、暖かいスポーツ日和の中、ホッケーを楽しみました。



## ボランティア研修会

### インターネット日本語学習教材 「いろいろ 生活の日本語」の使い方

**開催日** 1月20日(土) 15:30~17:30  
**場所** 社会教育センター  
**講師** 蜂須賀真希子さん(日本語教師)  
**参加者** 25人

協会の日本語教室や市内施設等で日本語支援活動をしているボランティアを対象に、インターネット日本語学習教材「いろいろ 生活の日本語」の使い方を学ぶ研修会を開催しました。講師の蜂須賀さんから、いろいろの特徴や使い方、この教材を使って授業を行う際の心構えなどを、わかりやすく教えていただきました。参加者はスマートフォンやタブレットなどを持参し、自分の手元で実際にいろいろを見ながら、具体的な使い方を学びました。



講師の蜂須賀さん。ご自身の日本語教師としての経験も交えながら「いろいろ」の使い方を教えてくださいました。



◀ 普段日本語支援活動をしているボランティアの皆さんからは、多くの質問がありました。

日本での生活に関連するさまざまなトピックを取り上げている「いろいろ」。どんな内容があるのかグループで確認しました。



## ボランティアニュース

### 県知事 感謝状受賞

長年にわたり地域福祉に尽力した功績に対し、12月22日(金)に愛知県体育館で開催された第71回愛知県社会福祉大会において、県知事からKIFA親善ボランティアに対して感謝状が贈られました。



# KIFAV 文化交流グループ

## 2023年度の主な活動

### 定例会

開催日 毎月第2金曜日 19:00~21:00

場所 国際プラザ

事業報告や推進事項の検討、新メンバーの紹介をしています。  
また、予定している企画に向けて勉強会も実施しています。

|     |                    |                                                  |
|-----|--------------------|--------------------------------------------------|
| 6月  | 異文化交流会<br>(たなばた)   | 愛教大留学生対象に浴衣体験と七夕短冊飾り、<br>季節の和菓子と抹茶で交流しました。       |
| 7月  | 異文化交流会<br>(台湾)     | 台湾の方を講師に招き、伝統料理3品を学び、<br>食文化を中心に台湾に触れました。        |
| 10月 | 多文化交流フェスタ          | SDGsの観点から、新聞エコバッグ作りと再生紙<br>を利用した折り紙体験ブースで参加しました。 |
| 11月 | 柿狩り                | アイシン学園研修生の皆さんと柿狩り体験を行<br>ない、ゲームを通じて交流しました。       |
| 11月 | ミササガ市民団へ<br>日本文化紹介 | 市原稲荷神社にて、市民団の皆さんへ着物着付<br>けと抹茶のおもてなしで交流を深めました。    |
| 1月  | 日本文化紹介<br>(着物着付け)  | 愛教大留学生の皆さんに着物着付けを行ない、<br>日本の遊びを通して交流しました。        |
| 2月  | 日本文化紹介<br>(おこしもの)  | 外国人住民の皆さんにひな祭り伝統料理のおこ<br>しものを紹介し、試食しながら交流しました。   |
| 3月  | グループ総会             | 事業報告&会計報告。<br>次年度運営委員選出&事業計画決め。                  |

文化交流グループでは、地域の外国人住民や留学生の皆さんと、日本文化を通じた交流や活動を行っています。また、諸外国の文化に親しむ異文化交流会も開催しています。外国の人たちに文化を伝えることで日本の良さを再認識したり、相手の国についての見識を深めたりと、交流を通じて貴重な体験を楽しんでいます。



▲ 愛教大留学生との着付け・七夕



自分たちが着付けした  
晴れ着姿のミササガ市民団と  
フェスタでは、エコバッグと  
折り紙のワークショップ



### ボランティアの声

外国の方と交流してみたい、異文化に触れたい  
と思い入会し、毎回ワクワクしながら参加させて  
頂いています。どのイベントもゲストと一緒に  
文化交流グループの皆さんが笑顔で楽しんで  
いて素敵だなと感じました。私も今後の活動を通し  
てゲストの皆さんが笑顔になるきっかけを作ってい  
きたいと思います。



都築 泰恵さん



▲ こんなにたくさん  
の柿に囲まれて  
アイシン学園の  
留学生たちは  
大喜び

# KIFAV 日本語支援グループ

## 2023年度の主な活動

|      |                                                                                 |                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通年   | 日本語教室<br>木曜:10:00~11:30<br>毎週<br>土曜:19:00~20:30<br>月3回<br>日曜:10:00~11:30<br>月3回 | 5月からコロナが5類移行になり、休止することなく予定通り教室を開くことができました。<br>学習者の人数は、22年後半から40人~50人/週で推移しており、まだまだコロナの影響があるのかなと心配しておりましたが、秋口を過ぎてから80人~100人/週と増えてきて、活気のある教室が徐々に戻ってきています。 |
| 1回/月 | 勉強会<br>原則第3日曜日開催                                                                | ボランティアが学習者にどのように日本語を教えたらよいか(教え方、進め方等)を学び、スキルアップしていけるよう勉強会を実施しました。                                                                                       |
| 10月  | 多文化交流フェスタ                                                                       | 学習者とボランティアが協力し、8カ国の紹介を行いました。<br>また、日本人来場者向けに日本語能力試験の模擬トライを行い、日本語能力試験の難しさを体験してもらいました。                                                                    |
| 11月  | 歴史散歩                                                                            | 市内3か所のお寺、神社を周り刈谷の歴史について体感してもらいました。                                                                                                                      |
| 12月  | 日本語ボランティア<br>入門講座                                                               | 今年度は1回の開催となりました。10人以上が新たにボランティア登録してくれました。                                                                                                               |
| 12月  | 刈谷高校野球部との<br>スポーツ交流                                                             | 昨年度に続き開催し、野球の楽しさを肌で感じてもらいました。また、校舎内の見学も行いました。                                                                                                           |
| 1月   | 新年会                                                                             | 書き初め、かるた等を行い、日本のお正月の雰囲気を体験してもらいました。                                                                                                                     |

日本語支援グループでは、市内近隣の外国人住民向けの日本語教室を運営しています。教室の運営方法や指導方法、課外活動などについても積極的に意見交換を行い、常に改善を意識しています。



▲ 元刈谷地区の地区神社と寺巡り



▲ フェスタでは学習者の出身国を紹介



▲ 新年会では自分たちで作ったかるたを楽しみました



▲ 刈高野球部とスポーツ交流



▲ 入門講座

## ボランティアの声

木曜日教室には、ご家族と一緒に来日した女性がよく来ます。  
家庭の状況により、長期継続的に通うことは難しい方も多いようです。私の担当の学習者さんもその一人です。  
「教室に通える時は貴重。」  
私もその時々学習を大切にしようと思っています。  
またここでの学習が、学習者さんの日本好きにつながればうれしいです。

神谷 真澄さん



## 学習者の声

わたしは4年前に日本に来ました。日本語がわからないので生活がむずかしくて、KIFAの日本語教室に来ました。ここでのべんきょうは、たのしくておもしろいです。先生はともだちみたいです。日本語のべんきょうのおかげで、外でも日本語を話すじしんができました。  
かんしゃしています。

シェレスタ サビナさん  
(ネパール)



# KIFAV 国際イベントグループ

## 2023年度の主な活動

|     |                   |                                                                   |
|-----|-------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 5月  | 刈谷歴史散歩            | 刈谷市の歴史を学ぶことを目的に、井ヶ谷地区を散歩しながら交流しました。                               |
| 6月  | クッキングフェスタ1        | 外国人住民の方（フィリピン・香港・日本）と各国の家庭料理を教えてもらいながら交流しました。                     |
| 10月 | 多文化交流フェスタ         | 初開催のフェスタに企画段階から参加し、当日は各国のファッションショーやダンスなどを披露するホールイベント全体の運営を担当しました。 |
| 2月  | クッキングフェスタ2        | 外国人住民の方（マレーシア・フィリピン・タイ）と各国の家庭料理を教えてもらいながら交流しました。                  |
| 3月  | 春の交流ピクニック<br>弥生の会 | 国際プラザ近くの公園で歓談をしたり、ゲームをしながら交流しました。                                 |

国際イベントグループでは、日本人と外国人住民が共に参加し交流できるイベントを企画実施しています。交流を通じてお互いをより理解し助け合える「多文化共生のまちづくり」を目指しています。



▲ 刈谷市の花“カキツバタ”と



▲ 各国の民族衣装に彩られ  
ファッションショーはとても華やか



▲ “食”を通して多文化交流



KIFAV  
国際イベントグループ  
山田 三大さん

国際イベントグループに所属して、14年目となります。今年は僕にとって、大きな節目の年となりました。コロナ禍で活動がうまく進まなくなり、メンバーで模索する3年間でしたが、ようやく通常の生活が戻ってきて、活動も徐々に元の姿を取り戻し、外国の人たちも、また周りに増えてきました。そんな中で迎えた『多文化交流フェスタ』。初めての開催にも関わらず、たくさんの方が来場してくれて、あらためてこのボランティア活動って素敵だなと思わせてくれるイベントでした。これからもこの地域に住む外国の人たちと市民の皆さんが繋がれるよう、この活動に携わっていきたいです。

## ボランティア交流会

開催日 5月14日(日) 14:00～16:00

場所 国際プラザ

参加者 44人

KIFAで活動しているボランティアの交流会を開催しました。各グループから活動計画や近況報告を行った後は、刈谷音楽協会のお二人によるミニコンサートを行い、会場はとても盛り上がりしました。短い時間でしたが、普段あまり会えない他グループのボランティア同士の親睦を深めることができました。



# KIFAV 通訳翻訳グループ

## 2023年度の主な活動

|     |                   |                                              |
|-----|-------------------|----------------------------------------------|
| 9月  | 日台観光サミット<br>in 愛知 | 愛知県からの依頼で、県内3ヶ所の会場で通訳ボランティアとして活動             |
| 11月 | ミササガ市民団           | 歓迎レセプション、市長表敬訪問、市内、市外見学や学校訪問などで通訳ボランティアとして活動 |

KIFAV通訳翻訳グループでは、市内や近隣地域の外国人住民や諸外国から訪問されるゲストのために、通訳・翻訳のお手伝いをしています。英語・中国語のほか、ベトナム語・タガログ語など多様な言語への対応ニーズが増えてきています。



### ボランティアの声

初の通訳ボランティアということで、最初は通訳という役割をしっかりと果たせるか不安だったのですが、KIFAの皆さんをはじめ、優しくフォローして頂けたので楽しく行うことができました。また、ミササガ市民団の方々との国境を越えての交流は、食・文化の違いについて話すことができ、私自身の視野を更に広げることができました。これからも国際交流促進に向けて、ボランティアとして挑戦していきたいです。

飯海 壮史さん



## ホストファミリーボランティア

協会では、ホストファミリーを募集しています。姉妹都市ミササガ市からの市民団の受け入れ、県内の国際交流団体が行う事業などでホストファミリーが必要になる場合など、募集状況を随時提供しています。

※このボランティアは家庭ごとの登録制です。



## オリジナルKIFAグッズ

海外の友人や外国の方に刈谷市を紹介する際のプレゼントに、オリジナルの記念品はいかがですか？



Tシャツ(S・M・L・LL)



クラブキャップ



万燈祭バナー



エコバッグ  
(緑・赤・オレンジ)

キーホルダー  
(七宝メタルレザー)



風呂敷



タンブラー

※国際プラザ、刈谷駅前観光案内所(刈谷市産業振興センター内)で取り扱っています。

# 刈谷市国際交流協会は 設立40周年を迎えました

1983年（昭和58年）4月、諸外国との交流や市民同士の友好親善をめざして誕生した刈谷市国際交流協会（設立当時の名称は刈谷市国際友好協会）は、2023年に設立40周年を迎えました。設立当時、刈谷市の外国人住民数は550人程度でしたが、現在は約5600人と、10倍になりました。私たちが暮らす地域や職場、学校など、生活のあらゆる場所で世界の人々との交流は、より身近になってきています。

2012年に国際プラザがオープンしたのを機に、協会では、諸外国の文化習慣を紹介する事業や、外国人住民の皆さんが暮らしやすい地域社会の実現をめざした多文化共生事業を数多く実施してきました。ここでは、これまで協会が歩んできた40年間でダイジェストでご紹介します。

## 1981（昭和56年）

7月7日 刈谷市とカナダ・ミササガ市との姉妹都市提携調印。



## 1982（昭和57年）

7月 提携1周年を記念し、国際友好協会を設立する旨のメッセージを刈谷市長からミササガ市長に送付。

## 1983（昭和58年）

4月 刈谷市国際友好協会 設立総会開催。初代会長に刈谷商工会議所会頭 三浦博氏就任。

## 1984（昭和59年）

8月 第1回交換学生派遣。交換学生12人と引率教師1人が、ヘリテージ日本語学校生徒と交流。

8月 第1回市民派遣。協会会長と各関係団体の代表計4人をミササガ市に派遣。

8月 刈谷市のサッカークラブ32人がミササガ市を訪問し、親善試合などで交流。

## 1985（昭和60年）

3月 ミササガ市長が刈谷市制施行35周年記念式典のために刈谷を訪問し、大名行列に参加。ミササガ市からサッカーチーム、少年野球チームが刈谷を訪問し、親善試合で交流。

## 1986（昭和61年）

7月 姉妹都市提携5周年記念式典に出席のため、刈谷市助役はじめ4人がミササガ市を訪問。

8月 刈谷市の少年野球チーム一行53人がミササガ市を訪問し、親善試合等で交流。

## 1987（昭和62年）

7月 ミササガ市新市庁舎オープニングセレモニーに出席のため、刈谷市助役はじめ4人がミササガ市を訪問。

8月 刈谷市の少年野球チーム一行33人が中国北京市・蘭州市他を訪問。

9月 刈谷商工会議所代表34人がミササガ市を視察訪問。

## 1988（昭和63年）

5月 協会会員の英会話の習得を目的とした、外国人講師による英会話教室を初開催。

7月 第5回市民派遣。この年から個人会員からも団員を公募開始し、関係団体代表3人、市民3人がミササガ市を訪問。

8月 刈谷高等学校創立70周年を記念して、イギリス・イートン校から31人がスポーツ交流（サッカー・柔道）のため来日。



## 1989（平成元年）

6月 ミササガ市からコースラパーク高校ジャズ合唱団「ミササガ・トランジット」24人が刈谷を訪問し、刈谷南中学校、市民会館でジャズコンサートを開催。初めて協会会員の中からホスト家庭を募集。



8月 ミササガ市から市内中学校のALT（英語指導助手）としてケリー・メッタさんが来日。

10月 ミササガ市との教師交換研修事業で、刈谷市からは3教諭がミササガ市を訪問、ミササガ市からも3教諭が刈谷市を訪問し、互いの教育システムについて研修を受けた。

## 1990（平成2年）

5月 刈谷市美術館で「ミササガ・刈谷親善美術展」開催。ミササガ市より絵画や版画など47点を出品。

7月 刈谷わんさか祭りで「刈谷市国際友好協会展」を開催。

8月 刈谷文化協会代表31人が、文化交流のためミササガ市を訪問。

## 1991（平成3年）

4月 国際友好親善の推進のため、「交換学生父母の会」「ミササガ派遣市民の会」を設立。

6月 刈谷市国際友好協会の第2代会長に太田保氏就任。

● 姉妹都市提携10周年。刈谷、ミササガ両市で記念式典を開催。

## ○ 1992 (平成4年)

- 2月 愛知教育大学留学生のための市内施設見学会を、この年から実施。市役所、郷土資料館、消防署などを見学した。
- 7月 ミササガ市中心部に「カリヤパーク」オープン。派遣市民がオープニングセレモニーに参加。

## ○ 1993 (平成5年)

- 5月 協会設立10周年記念式典。初代在名古屋カナダ領事ロバート・P・W・メイソン氏による記念講演会を開催。
- 6月 ミササガ市において姉妹都市交流を推進するため、ミササガ市友好協会（MFA）が設立。初代会長にジム・ルイス氏が就任。

## ○ 1994 (平成6年)

- 7月 姉妹都市提携調印日を記念し、ミササガ市で7月7日を「カリヤデー」と正式決定し、セレモニーを開催。

## ○ 1995 (平成7年)

- 6月 国際協力事業団が技術協力の一環で実施した「21世紀のための友情計画事業」で23人のインド青年指導者が刈谷市を訪問。住吉小学校や亀城公園で日本文化を体験した。
- 9月 第1回ミササガ市民団（マッキヤリオン市長を含む19人）が刈谷市を訪問。



## ○ 1996 (平成8年)

- 1月 ミササガ市にあるシェリダン・カレッジの産学協同日本研修プログラムで3人の研修生が来日し、市内トヨタ系企業で研修を実施。平成11年までの4年間で計9人の研修生が同プログラムを利用した。
- 4月 KIFA親善ボランティア発足。日本文化紹介、ホスト、日本語指導、通訳翻訳の4グループで活動開始。
- 11月 市民参加による国際交流フォーラムを産業振興センターで開催。

## ○ 1997 (平成9年)

- 4月 半年間の準備期間を経て、刈谷市民会館にて土曜夜にKIFAV日本語教室を開講。
- 12月 協会親善ボランティアの企画によるKIFAクリスマスパーティーを刈谷市民会館にて初開催。

## ○ 1998 (平成10年)

- 10月 協会設立15周年記念講演会開催。講師：ジョン・ギャスライト氏
- 通訳翻訳ボランティアによる、市内外国人住民のための生活ガイドブック作成。

## ○ 1999 (平成11年)

- 8月 絵画作品交換のため、ミササガ市開催の親善美術展に出品作品を郵送。
- 9月 「21世紀のための友情計画」でスリランカの教師10人が市内にホームステイ。刈谷南中学校を訪問し生徒と交流。

## ○ 2000 (平成12年)

- 11月 刈谷市美術館でミササガ市在住の画家、飛鳥童氏の作品展開催。期間中刈谷市に滞在した飛鳥氏は市内小学校5校で絵の指導などを行った。

## ○ 2001 (平成13年)

- 3月 姉妹都市提携20周年を記念し、ミササガ市長はじめ24人の市民団が刈谷を訪問。ミササガパークのオープニングイベントに出席。ミササガ市から贈られた彫刻「ウォーターロード」の除幕式を行った。
- 7月 ミササガ市・カリヤパークで姉妹都市20周年記念式典が開催され、園内のカリヤパビリオンのオープニングセレモニーが行われた。刈谷市からは「友好の像」が贈られた。



- 日曜日本語教室開始。

## ○ 2002 (平成14年)

- 4月 協会の第3代会長に永田靖章氏が就任。
- 7月 協会ボランティアが中心となった実行委員会が主催し、ラオス青年民族舞踊団刈谷公演を産業振興センターで開催。
- 11月 協会ホームページ開設。

## ○ 2003 (平成15年)

- 1月 「愛知万博フレンドシップ事業」の交流国が、カナダ・インド・ジブチに決定。
- 7月 市民派遣、交換学生受け入れがSARS流行により中止。
- 12月 ミササガからの市民団が参加し、協会設立20周年記念式典開催。刈谷市国際友好協会から「刈谷市国際交流協会」に名称変更。公募によりシンボルマークを決定。



## ○ 2004 (平成16年)

- 9月 愛知万博会場見学会実施。市民約40人が参加。
- 年間を通じて、刈谷市のフレンドシップ交流相手国3か国をテーマに、それぞれの国を紹介する国際理解講座等を実施。

## ○ 2005 (平成17年)

- 4月～9月 愛知万博開催。フレンドシップ交流国三か国のナショナルデーに参加し、市内でも各種イベントを実施。インドから監督とカメランを招待し、刈谷市の記録映画を製作した。



- 9月** ミササガ市長、市民団8人、JUSTUS合唱団28人が刈谷市を訪問し、愛知万博に参加。
- 12月** 愛知万博カナダパビリオンのモニュメント「メイプル・リーフ」が刈谷市に寄贈され、ミササガパークに移設される。



## ○ 2006 (平成18年)

- 6月** 日本語教室の活動を紹介するボランティア入門講座を、この年から開催。
- 7月** ミササガ市にて姉妹都市提携25周年記念式典を開催。この式典において両市長が姉妹都市協定を更新する宣誓書にサインした。
- 10月** KIFA親善ボランティア設立10周年記念式典・パーティー開催
- 11月** インド交流会「ディワリ祭 in 刈谷」開催。
- 11月** カナダストリートホッケー交流会 初開催。



## ○ 2007 (平成19年)

- 10月** 日印交流年公式事業として「ナマステ・インディア in KARIYA」を刈谷市民会館で開催。新潟県のミティラー美術館より、収蔵絵画や民芸品など、貴重な美術品が展示された。
- 11月** 在住外国人住民を対象とした市内公共施設見学会を開催。消防署、ハイウェイオアシス、リサイクルセンターなどを見学した。



## ○ 2008 (平成20年)

- 9月** 市内在住在勤の外国人住民を対象に、防災体験教室「防災で暮らしの安心を！」を刈谷消防署で開催。
- 11月** ストリートホッケーを紹介する目的で、ミササガ市から6人が刈谷市を訪問。小学校2校で体験授業を行う。

## ○ 2009 (平成21年)

- 7月** 市民派遣、交換学生派遣が新型インフルエンザの流行により中止。
- 9月** 外国人住民を対象に、体験型の防災教室を名古屋市港防災センターで開催。
- 10月** FC刈谷選手兼コーチ・アマラオ氏を講師に招き、国際交流教室「親子で体験、国際交流！～ブラジルに出会い、ともに“ゆめいく”しよう～」を開催。



## ○ 2010 (平成22年)

- 6月～11月** 刈谷北高校生27人がよりよい姉妹都市交流のための教材づくり講座に参加し、国際理解教育教材「わたしたちの地球と未来 カナダ編」を作成。翌年2月の30周年式典において提言を発表。
- 7月** 28年間続いた、ヘリテージ日本語学校との交換学生事業がこの年をもって終了。
- 10月** ナマステ・インディア2010 in KARIYA開催。この年から刈谷市総合文化センターとみなくる広場に会場を変更。
- 12月** 旧市民会館で行っていた国際交流パーティーを総合文化センター小ホールに会場を移し、国際交流フェスタ in KARIYAと名前を変更して開催。11か国の外国人住民が参加し、自国の文化を紹介した。
- 木曜日本語教室開始。



## ○ 2011 (平成23年)

- 2月** 刈谷市にて姉妹都市提携30周年記念式典を開催。ミササガ市民団10人が参加。
- 4月** 姉妹都市を紹介する「ミササガNOW！」を、2011年度の市民だより（15日号）に1年間掲載。
- 6月** ミササガ市ブラッドレー博物館で姉妹都市提携30周年記念展覧会が開催された。刈谷市からの派遣市民がオープニングイベントに参加し、ミササガ市友好協会とミササガ博物館友の会からの東日本大震災義援金を受け取る。
- 7月** ミササガ市庁舎の隣にセレブレーションスクエアがオープン。カナダデーイベントで派遣市民団がパフォーマンスを披露。
- 8月** ヘリテージ交換学生終了報告会開催。過去の交換学生や父母の会メンバーが参加した。
- 9月** 姉妹都市30周年記念品として、刈谷市からミササガ市に万燈祭フォトモザイクを贈る。除幕式のため、市長代表団がミササガ市を訪問。
- 11月** KIFAV親善ボランティアが愛知県国際交流協会より国際交流推進功労者として表彰された。



## ○ 2012 (平成24年)

- 3月** 刈谷市の国際化や多文化共生のまちづくりを目指した、刈谷市国際化・多文化共生推進計画が策定される。
- 4月** 国際プラザがオープンし、協会事務局が移転。5日間にわたってオープニングイベントを行う。
- 国際プラザを会場に、多文化共生の取り組みとして、外国語絵本の読み聞かせ、ワールドキッチン、外国籍住民のための健康相談会、外国につながる親子のための進路説明会などのイベントを実施。
- 7月** 刈谷北高校がミササガ市のスティーブン・ルイス校と姉妹校提携。派遣市民メンバーが調印式に同席した。



- 11月** 在名古屋カナダ領事館開館20周年記念・子ども絵画展「ぼくのカナダ・わたしのカナダ」を国際プラザにて開催。
- KIFAV国際イベントグループ発足。

## ○ 2013 (平成25年)

- 4月** 協会設立30周年記念式典開催。カナダ人落語家桂三輝氏を講師に迎えて記念講演会を開催。
- 11月** フィリピンコミュニティ支援として、在大阪フィリピン共和国総領事館による、1日出張受付サービスを国際プラザで開催し、無料生活相談会を行った。
- 協会ホームページをリニューアル。



## ○ 2014 (平成26年)

- 4月** ヘーゼル・マッキヤリオン市長が、在任中としては最後の刈谷訪問。国際プラザを初訪問し、刈谷市民とティーパーティーを開催。
- 8月** (公財)愛知県国際交流協会と刈谷市の共催で「外国につながる子どもと保護者のための進路説明会」を国際プラザで開催。
- 10月~** 地球や地域の課題と自分のつながりを理解するための、多文化共生を考える講座「グローバル・カレッジ」を国際プラザで4回開催。
- 11月** 12期36年間の任期を終えマッキヤリオン市長が退任。新市長にボニー・クロンビー氏が就任する。



## ○ 2015 (平成27年)

- 5月** ミササガ市民団刈谷訪問。滞在中、刈谷市制施行65周年記念式典に参加。市の功労者表彰を受賞したマッキヤリオン前市長と共に、市民からの歓迎を受ける。
- 6月** 長年にわたる地道な国際交流活動が認められ、刈谷市が自治体国際交流表彰（総務大臣賞）を受賞。



## ○ 2016 (平成28年)

- 4月** 7期14年間、協会会長を務めた永田靖章氏が退任し、第4代会長として鈴木豊氏が就任。
- 4月** ミササガ市のボニー・クロンビー市長が刈谷を初訪問。協会総会に参加し、会員に向けて挨拶した。歓迎レセプションへの出席の他、ミササガパークと佐喜知庵を訪問し、市民と交流した。
- 6月** 刈谷市代表团（市長、市議会議員、協会会長、随員）が、姉妹都市提携35周年を迎えたのを機に、ミササガ市を訪問。市内日系企業への訪問、カナダの建国を祝うカナダデーパレードに参加した。



- 7月** 派遣市民団10人がミササガ市を訪問。この年初開催の日本文化紹介イベント「ジャパンフェスティバル ミササガ」での姉妹都市提携35周年記念式典に参加した。
- 11月** 子育て世代の外国人住民への支援として、総合健康センターで「ママのための日本語サロン」を開催。子育て中の外国人ママに、子育てに必要な日本語や専門機関の利用方法についての情報を提供した。



## ○ 2017 (平成29年)

- 7月** ミササガを訪問中の派遣市民団が、カナダ建国150周年を祝うカナダデーイベントを体験した。
- 10月~11月** 刈谷防災ボランティアの協力のもと、日曜日本語教室で「地震が起きたら何をしますか？」をテーマに災害時の対応に必要な日本語と行動を学ぶ「行動体験型」学習を実施。

## ○ 2018 (平成30年)

- 2月** KIFAV日曜日本語教室の学習者が過去最高の120人を記録。その後も増え続けたため、学習申し込みを制限する措置をとった。
- 5月** 刈谷市美術館で開催された企画展「世界を変える美しい本〜インド・タラブックスの挑戦〜」で、インド文化紹介（サリー試着、ヨガ体験、南インドの定食「ミールス」食べ放題）に協力した。
- 11月** カナダからストリートホッケー選手親子を受け入れし、刈谷南中学校と刈谷高校でストリートホッケーを紹介した。
- 11月** JICAによる若手人材育成プログラムにより来日したアフリカ4か国の若者が講師となり、国際理解イベント「アフリカンナイト」を開催。夜間の開催にかかわらず約50人が参加した。



## ○ 2019 (平成31年／令和元年)

- 10月** ナマステ・インドア2019 in KARIYA開催。過去最多の約3800人が来場した。8月には関連イベントとして、インド人画家によるインドアートペインティングを国際プラザで開催。
- 11月** ストリートホッケー体験交流会に約100人が参加。



## ○ 2020 (令和2年)

- 2月** 新型コロナウイルス感染症の影響により日本語教室を休止。感染防止対策を検討し、木曜日は7月、日曜日は11月から再開した。
- 6月** 協会Facebookページ開設。

- 9月** 刈谷初期日本語教室「はなそう にほんご」初開催。  
検温、フェイスシールド着用など、感染対策をとりながら開催した。
- ミササガ市への市民派遣、ストリートホッケー団受入事業、外国人無料健康相談会などの協会事業が中止となる。
  - オンラインによるイベント開催の方法を模索する1年となった。グアテマラと国際プラザを繋いだ「世界をのぞこう」、「ZOOMでナマステ・インドア」などを実施。



## 2021 (令和3年)

- 7月** 姉妹都市提携40周年を記念して、オンライン記念式典を開催。
- 10月** 刈谷市健康推進課と共催で、コロナワクチンの予約が取りづらい人のために外国人向けコロナワクチン接種予約相談会を国際プラザで開催。



## 2022 (令和4年)

- 4月** コロナにより一時休止などの措置を取っていた日本語教室を全面再開。引き続き感染対策を講じながら教室運営を続けた。

- 5月** ミササガ市にあるカリヤパークで、姉妹都市提携40周年記念植樹祭を開催。クロンビー市長をはじめ両市の関係者が桜(ソメイヨシノ) 7本を植樹した。



- 11月** 姉妹都市交流事業に参加したことのあるミササガ・刈谷両市民を対象に、オンライン交流会を開催した。コロナで行き来ができない状況の中、久々の旧交を温めた。

## 2023 (令和5年)

- 1月** 2007年から2019年まで毎年秋に開催していたナマステ・インドア in KARIYAの事業終了を決定。
- 1月** ミササガ市前市長 ヘーゼル・マッキヤリオン氏が101歳で逝去。
- 4月** 協会総会において、協会設立40周年を記念し、長年貢献のあった個人、団体を表彰した。総会後にはカメルーン生まれの漫画家 星野ルネ氏を招いて記念講演会を行った。
- 10月** 地域外国人住民との交流イベント 多文化交流フェスタ in 刈谷を、市民交流センターで初開催。
- 11月** 4年ぶりにミササガ市民団受入、ストリートホッケー体験交流会を実施。
- 12月** ミササガ市ボニー・クロンビー市長が、オンタリオ州自由党の党首に当選。ミササガ市長の退任を発表。

## 2023年度総会・表彰式・設立40周年記念講演会

開催日：4月22日(土)  
場 所：刈谷市民交流センター

4月22日の総会終了後、長年協会に貢献していただいた個人や団体に感謝状を贈りました。

**功労表彰** ○永田靖章氏  
(刈谷市国際交流協会 前会長)

**感謝表彰** ○刈谷市国際交流協会親善ボランティア  
○スリーエス  
(外国につながりを持つ児童・生徒のための学習支援ボランティア)



**記念講演会** 講師 星野ルネさん(漫画家・タレント)  
演題 『アフリカ少年と考える多文化共生』

講演会では、カメルーンで生まれ日本で育ったルネさんが、自身が経験してきたユニークなエピソードを交えながら、私たちが生きる社会で多文化共生を実現していくためにどんな考え方や行動が必要かについてお話ししてくれました。育った環境や文化が違う相手の行動を「非常識だ」と非難したり先入観で見たりするのではなく、その人のバックグラウンドを知り理解しようとする事で、私たちは寛容になることができます。そこに多様性が受け入れられる社会の入り口があることを、ルネさんは示してくれました。



# INFORMATION

## 姉妹都市ミササガ市へ行こう！

2024年度中に市民団派遣の再開を予定しています。日程や募集の詳細は決まりしだい協会のHPで発表します。

**ミササガ市訪問支援（補助金交付）** 姉妹都市交流促進の一環として、市内在住・在勤・在学の市民が友好親善のためにカナダ・ミササガ市を訪問する場合に補助金を交付します。（1人につき1万円）詳細はホームページ掲載の姉妹都市交流事業補助金交付要綱をご覧ください。



### 刈谷市国際交流協会は 随時会員を募集しています

当協会は会員のみなさまの会費と刈谷市からの補助金で運営されています。会費はさまざまな事業やボランティア活動の支援などに大切にに使わせていただいております。ぜひ、多文化共生のまちづくりにご協力ください。

#### 納入方法

事務局窓口（9:00～17:15）で直接、もしくは銀行振込で。  
※月曜休館 祝日の場合はその翌日休

| 年会費 | 個人 | 1,000円         |
|-----|----|----------------|
|     | 団体 | 2,000円         |
|     | 法人 | 一口5,000円（何口でも） |

会員のみなさんにメールマガジン

### 『KIFA通信』

をお届けしています

いち早くイベント情報をお知らせします。  
ぜひアドレスを登録してください。

- ①名前
- ②会員番号
- ③メールアドレス

をkokusai@katch.ne.jpへ



### 2023年度 法人会員一覧

|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 株式会社 アイシン          | 株式会社 三陽製作所       |
| 愛知製鋼株式会社           | 医療法人至誠会二村医院      |
| あいち中央農業協同組合 刈谷地区本部 | 城東電機株式会社         |
| 株式会社 浅川信州造園土木      | 株式会社 スポーツマネージメント |
| 有限会社 東造園           | 株式会社 タイガーサッシュ製作所 |
| 角文株式会社             | 竹内精器株式会社         |
| 株式会社 神真組           | 株式会社 だるま         |
| カリソー株式会社           | 中王食肉株式会社         |
| 刈谷銀行協会             | 株式会社 デンソー        |
| 一般社団法人 刈谷青年会議所     | 株式会社 豊田自動織機      |
| 刈谷白米株式会社           | トヨタ紡織株式会社        |
| 有限会社 興伸製作所         | 日設工業株式会社         |
| 株式会社 近藤組           | 白半建設株式会社         |
| 株式会社 近藤造園          | 株式会社 豊電子工業       |
| 佐々木建設株式会社          |                  |

(50音順)

刈谷市総人口 152,948人  
刈谷市で暮らす外国人  
国籍別人口

|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 1位  | フィリピン   | 1,376人 |
| 2位  | ベトナム    | 1,279人 |
| 3位  | 中国      | 815人   |
| 4位  | ブラジル    | 781    |
| 5位  | 韓国及び朝鮮  | 310    |
| 6位  | インドネシア  | 229    |
| 7位  | ネパール    | 174    |
| 8位  | ミャンマー   | 117    |
| 9位  | スリランカ   | 101    |
| 10位 | タイ      | 86     |
|     | その他48か国 | 335    |

合計  
5603人

2024年1月1日現在



KARIYA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

事務局 〒448-0842 刈谷市東陽町1-32-2 刈谷市民交流センター2階(国際プラザ内)

9:00～17:15 (国際プラザの開館時間は9:00～21:00) 月曜日休館 (祝日の場合はその翌日)

ホームページ <https://www.kifanet.com/>

TEL 0566-62-1209

FAX 0566-21-0030



Facebook



ホームページ